

習慣とAIと環境 — 技術探求を続ける3つの鍵

エキスパートとしてのキャリア

「技術に取り残される」不安への処方箋

azukiazusa

自己紹介

- azukiazusa
- フロントエンドが好き
- azukiazusa.dev
 - 週に1回技術記事を公開 (5年以上継続中)



ブログを書いています

B!

はてなブックマーク

< トップへ戻る

https://azukiazusa.dev/

🔍

🏠

☰

☰

☰

ChatGPT

総合

一般

世の中

政治と経済

暮らし

学び

テクノロジー

おもしろ

エンタメ

アニメとゲーム

おすすめ

『azukiazusaのテックブログ2』

人気

新着

すべて

1126

USERS

🔖

コーディングエージェントの現状の整理とエンジニアの仕事の変化について

AI によるコーディングの支援はコード補完型からチャット型、そして自律型へと進化しています。この記事では現時点で主流となっているコーディングエージェントの種類とその特徴を整理したうえで、エンジニアの仕事の変化について考察します。コーディングの仕事における AI 技術の関わりといえば、GitHub Copil...

テクノロジー 2025/06/01 20:03

👤 azukiazusa.dev

AI あとで読む 開発 コーディング エンジニア 仕事 LLM プログラミング development programming

コーディングエージェントの現状の整理とエンジニアの仕事の変化について

👤 azukiazusa

566

USERS

🔖

最小限のコードで動く最も汚いコードから始める

最小限のコードで動く最も汚いコードから始める

👤 azukiazusa

392

USERS

🔖

AI エディター Cursor を試してみる

AI エディター Cursor を試してみる

👤 azukiazusa

351

USERS

🔖

私のキャリアに影響を与えたコンピューター・IT の定番書籍

私のキャリアに影響を与えたコンピューター・IT の定番書籍

👤 azukiazusa

346

USERS

🔖

Claude Code の学習モードで自分の手でコードを書く練習をしよう

Claude Code の学習モードで自分の手でコードを書く練習をしよう

👤 azukiazusa

今日のアジェンダ

1. なぜ新しい技術を学び続けるのか
2. AI を活用した技術記事執筆法
3. 自己ラベリングの呪縛

なぜ新しい技術を学び続けるのか

1. おもしろいから
2. 自分のためにアウトプットをする
3. 習慣化しているから

1. おもしろさが原動力

- 知らなかったことを知る喜び
 - 好奇心旺盛な性格で、分野に限らず興味を持つ
- 新しい技術で何ができるかワクワクする
 - なぜこの技術が生まれたか？
 - どんな課題を解決するのか？

毎週「新しいおもちゃ」が届く感覚

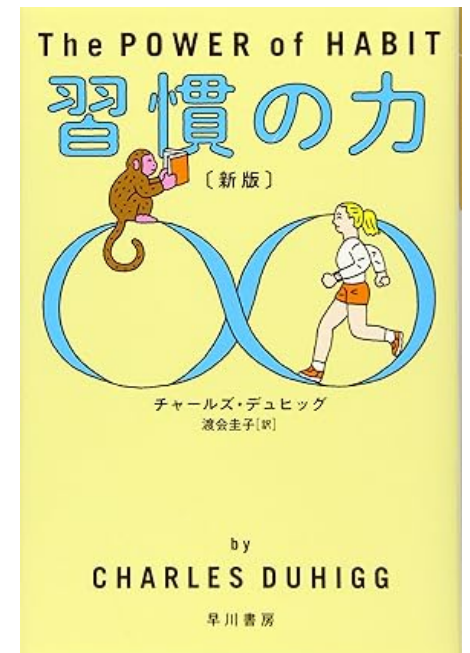
2. アウトプットは自分のため

他人からの評価を期待するのではなく、自分自身の学習効果を最大化するためにアウトプットを行う

- 人に教えるように学ぶと理解が深まる
 - 理解があいまいな部分の発見
 - 長期記憶への定着
 - 知識の整理整頓

3. 習慣の力

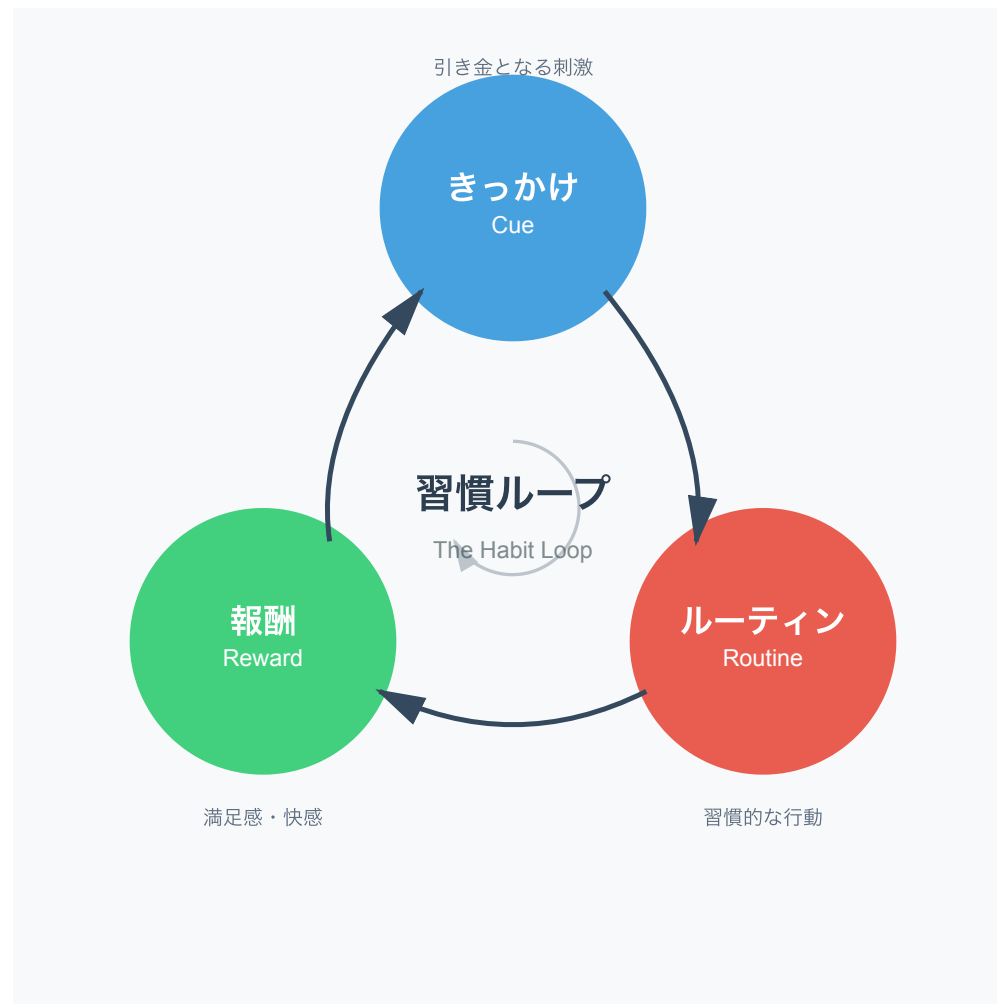
- 私達の行動の約40%は習慣によって決定される
- 習慣化することで、意志力に頼らず行動できる
 - 毎日の歯磨きを億劫に思ったり、意志力を振り絞ってやっているわけではない
- 私にとって、技術の収集やアウトプットは習慣化されている行動



<https://www.hayakawa-online.co.jp/shop/g/g0000612738/>

習慣化の仕組みを理解する

きっかけ・ルーティン・報酬



発信の原点：週報から始まった

週報に「今週学んだこと」を書く（小さな習慣）



「自分の理解を整理できる」という報酬



もっと詳しく書きたい



ブログへ

いきなり大きな目標を立てるのではなく、小さな習慣を作ることが大事

- 大きな物事を達成するよりも継続を目指す
- ランニングを始めたときは2～3km から始めた
 - 継続したことで、徐々に距離を伸ばして10km 走れるようになった
- SNS のいいね数やアクセス数を報酬にしない
 - 他人からの反応はコントロールできない

習慣化のコツ: 私の週次習慣

- 平日: X, はてなブックマークを眺め、気になった投稿をブックマ
 - 「気になったものをストックする」 軽い作業
- 土曜の昼頃: ブックマークから1つを選んで深掘り開始
 - 実際に動かしながら並行してブログ記事を執筆
- 記事が完成したらプルリクエストのマージボタンを押す
 - このタイミングが一種の達成感となる

技術記事を書く習慣が技術に取り残される不安
を和らげる

今日のアジェンダ

1. なぜ新しい技術を学び続けるのか
2. AI を活用した技術記事執筆法
3. 自己ラベリングの呪縛

AI は自分の知識を増幅する道具として使用する

- AIに記事を書かせると、学習の機会を失う
- 補助的な役割として使用するのが効果的

技術記事の執筆は人間がやるべきだが、AI を全く使わないのもナンセンス

AIとの共創による技術記事執筆

- 壁打ち相手として文書構成を検討
- 校正・誤字脱字チェック
- 文書の形式の変換

壁打ち相手として文書構成を検討

- 頭の中で漠然と考えているだけでは見落とし
ていた点に気づける
 - ラバーダッキング効果
- ステップバイステップで論理的に考える訓練
にもなる
- AI と対話することで第三者の視点を取り入れ
られる



AIを活用した文章校正

- 誤字脱字や文法の誤りをチェック
 - このような作業は本質的な部分ではない
 - 機械的なチェックは AI の得意分野
- 表現の改善提案
 - より自然な言い回しや、わかりやすい表現への変更提案
 - 「xxx」という単語は突然出てくるため説明を加えたほうが良い、など

Claude Codeの活用例

カスタムスラッシュコマンド（`/article-review`）で文章校正

```
---  
allowed_tools: Bash(git:*), Bash(npm:*), Read(*.md), Fetch(*)  
description: "引数で指定した記事のレビューを行います。"  
---
```

あなたはプロの編集者です。技術記事を読んで、誤字脱字、文法的な誤り、不自然な表現を指摘してください。

出力形式

、、、

【誤字脱字・表記ミス】

- 該当箇所：「〇〇〇」
修正案：「×××」
理由：[具体的な理由]

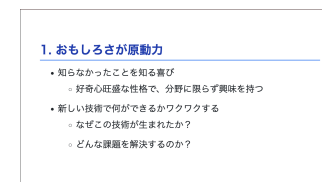
...
、、、

文書の形式の変換

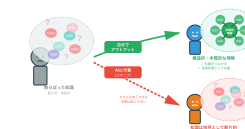
```
contents > slides > yapc-fukuoka-2025 > memo.md > # 新しい技術を探求する理由 ## 週1でブログを書くのは習慣
You, 11 seconds ago | 1 author (You)
1 # 新しい技術を探求する理由
2
3 ## おもしろさが原動力
4
5 - 毎週新しいおもちゃが渡される
6 - AI関連の技術は気づいたら追っていた、理由は面白いから
7
8 ## 週1でブログを書くのは習慣
9
10 - 歯磨きしないと気持ち悪いのと同じ
11 - 固定した文書構成を持っているので、書きやすい
12 - 参考書籍: [習慣の力(新版) (ハヤカワ文庫NF)](https://www.hayakawa-online.co.jp/shop/g/g0000612738/)
13 - 始めは小さく始める
14   - 自分も始めは週報から始まった You, last month • wip ...
15   - 今週学んだ技術・どう思ったか・参考リンク
16   - 週報を続けているうちに、次第に内容が充実してきた
17 - ブログを書く時間をあらかじめ確保する
18   - 毎週日曜日の夜に1時間など
19   - 書く時間を確保しておかないと、他のタスクに押しつぶされてしまう
20 - ブログを書くコツは、ブログを書くこと
21   - やる気が出るから始めるのではなく、始めるからやる気が出る
22 - 習慣の3つの要素
23   1. きっかけ: 行動を始めるためのトリガー
24   - Xのタイムラインを眺めて興味を持った記事を読む
25   - 記事を書く障害を下げる
26     - エディタをすぐ開けるようにしておく
27   2. ルーティン: 日常の一部として行う行動
28   週1回ブログを書く
```



ブログ記事



スライド



メモや箇条書きでアイデアを整理



無から AI に生成させるのではなく、
自分の頭の中にあるアイデアを形にする補助と
して活用する

今日のアジェンダ

1. なぜ新しい技術を学び続けるのか
2. AI を活用した技術記事執筆法
3. 自己ラベリングの呪縛

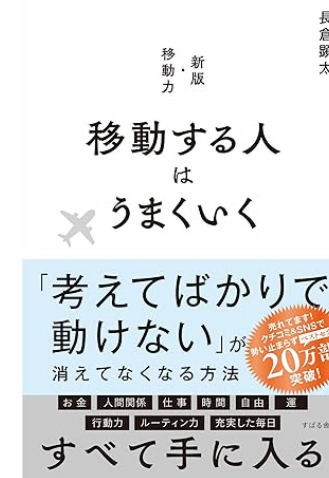
自己ラベリングの呪縛

- 「私は喋るのが苦手なキャラだから、登壇なんてできない」 と思っていた
- 「私は〇〇な人間だから」と決めつけてしまうのは自己ラベリングと呼ばれる
- 自己ラベリングで自分自身のキャラを決めつけてしまうと、行動の幅が狭まってしまうという問題がある

自己ラベリングを脱却するには、環境を変える

- ラベルは生まれ育った環境によって形成され、社会的相互作用の中で維持される
- 環境を変えることで、自分の行動や思考パターンも変わる
- 私が所属している会社では登壇を推奨する文化があり、社内勉強会から始めて成功体験を積み重ねられた

<https://www.sbcr.jp/product/4799109655/>



毎年新しいことを始めるのもおすすめ

- 人間は変化を嫌う生き物なので、新しいことを始めるのは負荷がかかる行為
- マンネリ化したルーティンを繰り返しても、脳はあまり刺激を受けない
- 自分には向いてないと思っていたことに意外とハマったりなど、自己理解を更新する
- 私自身 2025 年に初めてライブに参戦した

「技術に取り残される」 不安に対する回答

- 行動を習慣化する
- AI は道具として活用する
- 自己ラベリングに縛られないために、環境を変える